

社団法人日本プロジェクト産業協議会

我が国EEZ内海洋資源開発による 経済波及効果および新規雇用者数試算

1. 推定埋蔵量

	埋蔵量	回収率	可採数量	可採金属含有量	可採総金額
熱水鉱床	7.5億トン	60%	4.5億トン	1.7億トン	80兆円～
コバルトリッチクラスト	24億トン	45%	11億トン	2.1億トン	100兆円～
メタンハイドレート	12.6兆m ³	33%	4.1兆m ³	4.1兆m ³	120兆円～
合計					300兆円～

(埋蔵量推定値300兆円は最下限値)

2. 年間経済波及効果

	年間採鉱量	可採年数	年間生産金額	乗数効果	経済波及効果合計
熱水鉱床	12百万トン	38年	2兆円	2	4兆円
コバルトリッチクラスト	6百万トン	195年	0.5兆円	2	1兆円
メタンハイドレート	500億m ³	82年	1.5兆円	2	3兆円
合計			4兆円		8兆円

(乗数効果: 産業連関表の運輸1.8、鉱業1.9、一般機械2.2から類推)

(年間採鉱量前提: 熱水鉱床50万トン×24箇所、コバルトリッチクラスト50万トン×12箇所、メタンハイドレート15億m³×30箇所)

3. (生産に関わる)新規雇用者数

	新規雇用者数	乗数効果	新規雇用者数合計
熱水鉱床	17.5千人	2	35.0千人
コバルトリッチクラスト	8.7千人	2	17.4千人
メタンハイドレート	27.0千人	2	54.0千人
合計	53.2千人		106.4千人

(経済波及効果における乗数効果を適用して算出)

↓

**新規雇用
10万人**